

卒業研究

[講義・演習] 第3学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○ 木浪 智佳子 kinami@hoku-iryu-u.ac.jp 高木 由希 濱田 淳一 横川 亜希子 米川 弘樹 山口 夕貴
山田 拓 増田 悠佑 表山 知里 伊藤 加奈子 中安 隆志 若濱 奈々子 舩橋 久美子 川崎 ゆかり
谷本 真唯 野崎 由希子 中谷 智子

【概要】

4年次の卒業研究を行うための基礎的知識として、看護研究の意義や研究倫理、研究論文の読み方、自分もつ看護実践上の疑問や問いを明らかにする方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 看護学における研究の意義と目的について解釈できる。
2. 看護研究における倫理的配慮とその重要性について説明できる。
3. 臨床疑問から研究疑問を推論できる。
4. 研究目的にあった研究のタイプおよび研究方法を説明できる。
5. 文献の検索ならびにクリティークを行うことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護研究の意義	オリエンテーション 看護研究の意義	木浪・高木
2	看護研究の意義	看護研究における研究倫理	濱田
3	看護研究の概要	看護研究のプロセス	高木
4	看護研究の概要	研究計画書の作成	高木
5	看護研究の概要	研究疑問にもとづく研究デザイン	高木
6	研究方法	量的研究	高木
7	研究方法	質的研究	木浪
8	文献の検索と読み方	文献クリティークの方法	木浪
9	文献の検索と読み方	文献検索の方法	木浪
10	文献の検索と読み方	文献クリティーク（演習：量的研究） ・量的研究の論文について、グループでクリティークする。	木浪・高木 米川・山田（拓） 増田・伊藤 若濱・舩橋 谷本・野崎 中安
	1G / 10G	量的研究論文のクリティーク演習	伊藤
	2G / 11G	量的研究論文のクリティーク演習	舩橋
	3G / 12G	量的研究論文のクリティーク演習	谷本
	4G / 13G	量的研究論文のクリティーク演習	中安
	5G / 14G	量的研究論文のクリティーク演習	若濱
	6G / 15G	量的研究論文のクリティーク演習	増田
	7G / 16G	量的研究論文のクリティーク演習	米川
	8G / 17G	量的研究論文のクリティーク演習	中谷
	9G	量的研究論文のクリティーク演習	山田（拓）
11	文献の検索と読み方	文献クリティーク（演習：質的研究） ・質的研究の論文について、グループでクリティークする。	木浪・高木 増田・伊藤 山口・舩橋 谷本・表山 横川・川崎 野崎・若濱
	1G / 10G	質的研究論文のクリティーク演習	伊藤

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	2G / 11G	質的研究論文のクリティーク演習	船橋
	3G / 12G	質的研究論文のクリティーク演習	谷本
	4G / 13G	質的研究論文のクリティーク演習	川崎
	5G / 14G	質的研究論文のクリティーク演習	横川
	6G / 15G	質的研究論文のクリティーク演習	増田
	7G / 16G	質的研究論文のクリティーク演習	表山
	8G / 17G	質的研究論文のクリティーク演習	野崎
	9G	質的研究論文のクリティーク演習	山口
12	研究の実際	卒業研究の発表会の参加(1)	担当者全員
13	研究の実際	卒業研究の発表会の参加(2)	担当者全員
14	研究領域の選択	研究領域と研究内容(1) ・4年次の卒業研究 の概要、希望調査方法の説明	木浪・高木
15	研究領域の選択	研究領域と研究内容(2) ・ゼミナール探究	木浪・高木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

提出課題70%(文献クリティーク演習課題、卒業研究発表会の参加記録)、授業内で実施する小テスト30%

【教科書】

前田ひとみ編:基礎看護学(4):看護研究 第4版,メディカ出版,2022.

【参考書】

黒田裕子:黒田裕子の看護研究 step by step,第5版,医学書院,2017.

ポ-リットD.F., ヰックC.T., 近藤潤子(監訳):看護研究 原理と方法,第2版,医学書院,2010.

ブリックP.J., ウッドM.J., 小玉香津子・輪湖史子(訳):看護研究計画書作成の基本ステップ,日本看護協会出版会,1999.

松木光子・小笠原知枝:これからの看護研究-基礎と応用,第2版,廣川書店,2012.

横山美江編:よくわかる看護研究の進め方・まとめ方,量的研究のエキスパートをめぐって,第2版,医歯薬出版,2017..

グレッグ美鈴編:よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートを目指して,医歯薬出版,2016.

酒井聡樹著:これからレポート・卒論を書く若者のために,第2版,共立出版,2017.

前田樹海著:臨床ナースから看護研究まで 研究発表のプレゼンもっとよくなります!,日本看護協会出版会,2016.

井部俊子:看護師のための文章ノート,日本看護協会出版会,2018

小笠原喜康:新版 大学生のためのレポート・論術,2018.

【備考】

Google formsによる出席管理を行う。第9回の講義ではPCを使用する。その他の講義でPCを使用する場合は事前に指示する。

【学修の準備】

以下の予習・復習に取り組む(1時間)

- ・教科書の該当箇所を読んでくること。
- ・授業で紹介された研究論文を読み、グループワークに必要な資料を作成し学修の準備をすること。
- ・教科書、資料を読み直し学修を深めること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

木浪智佳子(看護師)、高木 由希(看護師)、横川亜希子(看護師)、米川 弘樹(看護師)、山口 夕貴(看護師)、山田 拓(看護師)、増田悠佑(看護師)、表山知里(保健師)、伊藤加奈子(看護師)、中安隆志(看護師)、

(2026年度・看護福祉学部)

若濱奈々子(看護師)、船橋久美子(看護師)、川崎ゆかり(看護師)、谷本真唯(看護師)、野崎由希子(看護師)、中谷智子(助産師)

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験を活かし、看護実践を研究的視点で捉えた研究テーマを探求し、実行可能性のある研究計画書を作成するための教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している